

# 市民全員・飲食店サポート事業

(議案第70号 明石市一般会計補正予算(第5号))

## 市長専決処分をめぐる審議の流れについて

### 8月臨時会 継続審査を議決

令和3年8月臨時会を8月11日から12日までの2日間で開会しました。議案第70号 令和3年度明石市一般会計補正予算(第5号)「市民全員・飲食店サポート事業にかかる費用」について、議会は継続審査とすることを議決しました。この決定に対し、8月12日に市長は専決処分により補正予算を成立させ、事業を実施することとなりました。

### 8月11日 本会議

臨時会の会期を8月11日から12日の2日間と決定しました。議案第70号について、市長から提案理由が説明された後、議案に対する質疑を2人の議員が行いました。その後、より詳細な議案審査を行うため、議案第70号を生活文化常任委員会に付託しました。

#### 【質疑の主な内容】

○本事業の主たる目的、経済効果は。コロナ禍で困窮する飲食店に対しては、大型経済対策や救済措置などを実施する必要性を感じている。市民の税金を使うのであれば、効率性・有効性を考え、公平な観点から事業を実施すべきである。

○郵便料が1億5千万円と高額である。個人単位の郵送ではなく、世帯単位で郵送すれば、郵便料が削減できるのではないか。給付金額と開始時期の根拠は。

#### 【市長答弁の主な内容】

○8月2日から緊急事態宣言が発令され、市民の悲鳴が聞かれる。飲食店等も大変な状況である。市民生活への支援と飲食店などへの早急な支援が必要と考える。

○サポート利用券事業は、金額や対象は異なるが、昨年度に3回実施しており、効果は保証されている。必要な財源も確保できている。

### 8月11日 生活文化常任委員会

議案第70号について、早急に事業を実施することの必要性、配布方法やその費用、対象店舗の平等性、事務の委託方法などに疑義や質問が相次ぎました。事業の実施内容を精査し、慎重に決定すべきという意見が多数を占め、継続審査(※1 11面下部参照)とする旨を決定しました。(賛成4・反対1)。

#### 【委員からの主な意見】

#### 《議案の継続審査に反対》

○2年にわたるコロナ禍で大変な思いをしている多くの市民からの本事業に対する期待は大きなものがある。

○市民や事業者への支援が必要なことは理解する。

○市の財政面への影響なども分かりやすく丁寧に説明を行いながら事業を進めてほしい。

#### 《議案の継続審査に賛成》

○緊急事態宣言中にも関わらず、サポート利用券を送付し消費喚起して大丈夫なのか。高額な費用をかけて、早急に事業を行う必要性はあるのか。

○他の施策との費用対効果の比較や配布方法の検討、対象店舗の募集方法が平等性に欠ける。さらには、事務を委託する業者の選定方法などについて、疑義を感じる点が多い。

### 8月12日 本会議

生活文化常任委員長から、事業の制度設計について、もう少し時間をかけて精査するべきであることから、閉会中の継続審査とする旨の結論となったことの報告があり、その後、継続審査とすることについて、1人の議員から反対討論がありました。

採決の結果、継続審査とすることを賛成多数(賛成16・反対12)で議決しました。

### 8月12日 本会議の終了直後

泉市長は、本会議の終了直後、報道関係者の囲み取材の中で、議案を専決処分(※2 11面下部参照)することを突如表明しました。その後、専決処分したことについて、市長から正副議長に口頭にて事後報告がありました。(同日、議案の専決処分が告示されました。)

### 8月19日 専決処分に対する意見表明

意見表明に賛同する議員25人を代表して、正副議長を含む10人の議員が泉市長に対して、専決処分を行ったことに対し抗議する意見表明書を手渡しました。

#### 【意見表明の要旨】

○議会は、故意に議決を先送りし、議決しないと意思表明したことはない。

○本会議の閉会という一事をもって議会の議決が得られないと即断し、継続審査の議決直後の同日に専決処分したことは、地方自治法第179条のいずれの要件にも該当しない違法な処分と言われても過言ではなく、議会を軽視するもので非常に残念である。

○予算案等、市政に関わる重要案件は、意思決定機関である市議会において、慎重な議論を尽くした上で決定されなければならぬとの立場から、議会の審議過程を十分考慮し、結論を出していくという真摯な姿勢で臨んでいただくよう望む。



泉市長(写真右)へ意見表明書を手渡す榎本議長(同左)

### 8月27日 生活文化常任委員会

市長の専決処分により補正予算が成立し、委員会として議案第70号の審査が不要となった旨を確認しました。その上で、所管事務調査として、市民全員・飲食店サポート事業の進捗状況等について報告を受け、疑義のあった部分等について、現状の説明を受けました。

#### 【委員からの主な意見】

○緊急事態宣言が9月12日まで延長されている。個人経営の飲食店は休業している店も多く、スーパーマーケットに利用が集中する恐れがある。事業開始を急ぐ必要はあったのか。

○サポート券の配達業者の選定や配達方法については、複数の業者を比較検討するなど、適正な手続きを経た上で経費削減の努力を行うべきである。

○サポート券が利用できる加盟店舗数は、当初の650店舗から大きく増えていない。積極的に広報を行うなど、拡大させる努力を続けてほしい。

○店舗に対する直接支援も検討できないか。例えば、個人商店等への家賃緊急貸付金の返済据置期間を再延長できないか。

○市長と市議会は車の両輪である。なぜ、スピードだけを重視するのか。市民のためにという思いは共通している。市長と市議会の信頼関係が大切である。